

審査の結果の要旨

氏名 徐 妍

本論文は、中国雲南省景邁山におけるプーアル茶の文化的景観の構成とその変遷のメカニズムを明らかにし、加えてその文化的景観の保存管理の方法に関して考察および提案を行った論文である。

論文は、序論にあたる第 1 章および第 2 章と結論を述べる第 7 章のほか、ケーススタディの対象となる中国雲南省景邁山のプーアル茶栽培の状況に関して、プーアル茶産業の発達の歴史の概要を明らかにした第 3 章、プーアル茶栽培が生み出す文化的景観の構成要素を分析した第 4 章、同じくその文化的景観の変化プロセスを明らかにした第 5 章、その保存管理背策を論じた第 6 章から成っている。

第 1 章は、研究の背景と目的、論文の構成を述べている。

第 2 章は、農村における文化的景観に関する既往研究を概観し、とりわけ中国における研究の方法論を農村開発との関係のなかでその特徴を明らかにしている。また、文化的景観をめぐる用語の定義を世界遺産の文脈に沿いつつ明らかにしている。

第 3 章は、論文の対象としているプーアル茶栽培の中国における歴史を概観し、プーアル茶生産のプロセスの特徴を明らかにしている。続いて、プーアル茶産業の全体像を示し、中国茶全体の中に占めるプーアル茶産業の位置を明らかにしている。その中で、1965 年以降、大規模なテラス栽培による機械化の進展がおおきくプーアル茶をめぐる文化的景観のあり方を変化させてきていることを示している。

第 4 章は、本論文が対象としている雲南省景邁山におけるプーアル茶栽培の文化的景観に関して、その構成要素を明らかにし、地形および水系、山岳気象などが茶栽培を規定する要因となっていることから、これらの要因と文化的景観の関係を明らかにしている。また、プーアル茶栽培集落の物理的および社会的構造を現地踏査をもとに明らかにし、林床部におけるプーアル茶栽培が集落の縁辺部における日常的な社会活動であることから、無形の社会活動が景観維持に重要な役割を果たしてきたことを実証的に示している。

第 5 章では、雲南省景邁山におけるプーアル茶栽培の文化的景観の 20 世紀中葉以降の変化を明らかにし、その要因を考察している。集落の文化的要因、社会的要因および茶栽培の技術的要因が文化的景観の変化をもたらすメカニズムを明らかにしている。とりわけ、集落構造の変化に着目し、インフラ整備にともなう集落の拡大と茶栽培の機械化によるテ

ラス状の茶畑の造成への変化が文化的景観変化の主要な要因であることを示している。

第 6 章では、中国における文化財保護、とりわけ文化的景観の保全施策を概観し、対象地である、雲南省景邁山におけるプーアル茶栽培の文化的景観の保全の現状を考察し、住民参加による新しい保全施策の導入を提案している。

以上をとりまとめる第 7 章では、プーアル茶栽培に固有な文化的景観の構成要素をまとめ、その変容の具体的様相を明らかにし、保全のための新しい施策を提案している。

以上、要するに、本論文は、従来詳細な調査がなされてこなかったプーアル茶の文化的景観について、雲南省景邁山の事例を詳細に検証することによって、文化的景観の詳細な成立と変容のメカニズムが明らかにされたことによって、その実効ある保全施策を提案することに成功している点において優れた論文として高く評価することができる。

よって本論文は博士（工学）の学位申請論文として合格と認められる。